



コロナ禍の中で、できることを、できる形で！



10月11日(日)に、秋桜祭を実施しました。例年は、体育館に全校生徒が集まり、合唱コンクールの他に、生徒会役員によるスローガン発表のパフォーマンスや点字絵、英語暗唱・弁論など、多くの発表の場を設定していました。保護者の皆様にも参観していただいたり、PTAバザーに協力していただいたりした、本校の大きな行事の一つでした。しかし、本年度はコロナ禍の中で、PTAバザーは中止し、学年ごとに時間を設定した、学年別合唱コンクールという形で秋桜祭を実施しました。



〔合唱コンクールの様子〕

少し苦労話を披露しますと、音楽の時間や帰りの会での練習が大変だったようです。例年は、体育大会が終わると、音楽の時間ももちろん、朝の会や帰りの会で各学級の合唱の歌声が校舎中に響いていました。しかし、マスクをつけて歌ったり、ピアノのまわりに集まって練習したりすることができないなど、勝手が違ったようです。最優秀賞を受賞した学級は、日向市で行われるひまわりフェスティバルに出場するという恒例行事がなかったことも、やや盛り上がりや欠く要因だったのかもしれませんが、しかし、体育大会同様、生徒には感心させられます。それは、今できることをできる形でやり遂げてくれることです。練習は十分ではなかったかもしれませんが、感動的な歌声を聴かせてくれました。コロナ禍の中でも、いつも前向きに取り組む姿に勇気をもらいます。また、本年度は校歌をリモートで合唱し、映像を流しました。残念ながら映像は映りませんが、学校ホームページには、生徒が歌う校歌をアップしていますので、ぜひお聞きください。



〔密を避けた会場の様子〕

門川町読書感想文コンクール表彰式～秋の夜長に読書を！

10月17日(土)は、門川町読書感想文コンクール表彰式が開催されました。本年度は、中学校応募総数230点の中から、右の4名の生徒が受賞しました。



〔読書感想文を発表する生徒の様子〕

小学生から中学生まで読書感想文の発表がありましたが、生き方や考え方をテーマにしたものが多かったように感じました。

ひょっとすると、コロナ禍にあって、子どもたちも生命に関わる内容の本を読む機会が多かったのかもしれないと感じました。

秋の夜長、ぜひご家庭でも読書を薦めてください。

- 〔最優秀賞〕
生きていることは素晴らしいすぎる
3年 藤元悠々子 さん
- 〔優秀賞〕
日本の未来～コロナの先にあるもの～
1年 川越 結有 さん
- 〔優良賞〕
これからの私
3年 初田 優希 さん
- 〔優良賞〕
世界から大事な物が消えたなら
3年 松田 悠汰 さん

感動をありがとう、吹奏楽部定期演奏会！

10月18日(日)は、吹奏楽部定期演奏会でした。感染症の防疫対策のため、入場者の50%制限、検温、連絡先の記入など、後援会の皆様のご協力を得て、無事に実施することができたことに感謝しています。本年度は、吹奏楽部の発表の機会が少なかったため、何とか実施させてあげたかった行事です。特に、3年生が最後の演奏ということもあり、心を込めた演奏をしてくれました。



〔演奏会前のリハーサルの様子〕